世界法学会 2027 年度研究大会報告者公募のお知らせ

2026 年 10 月 3 日 世界法学会企画委員会

本学会は、2027 年 5 月 23 日（日）に学習院大学において研究大会を開催します。企画委員会は、2027 年からの 3 年間の研究大会について、「分断時代の世界法」という中期コンセプトを定めました。

2026 年現在、世界の「分断」が取り沙汰されている。歴史的に見た場合、世界は常に分断していたものの、過去数十年間、曲がりなりにも分断の克服が進行しつつあるように見えていた。しかし、現在の分断の克服は深く激しい反動に晒されているように思われる。統一・統合を主要な理念とする世界法は、果たして、この時代の法状況について、何を問題として、どのように応えうるのだろうか？

これからの 3 年間について、この「分断」を切り口に、世界法・国際法の諸領域について考察する。

以上のコンセプトの下で、企画委員会は 2027 年度研究大会の年次テーマを「分断時代の世界法――基礎論的課題」と設定しました。その具体的な対象項目としては、「理論、基礎論、方法論、法源、責任、司法、国際組織、等」を想定しています。

なお、2028 年度は「武力行使法、武力紛争法、国際刑事法（免除を含む）、領域法、等」、2029 年度は「国際人権法、国際環境法、国際経済法、等」を年次テーマの対象とすることを予定しています。

企画委員会では、2027 年度研究大会の報告者の一部を下記の要領で公募します。公募報告は全体会合において実施される予定です。若手の研究者や実務家をはじめ、多くの会員の方々の応募をお待ちしています。

◇　　記　　◇

１．公募内容

公募報告者は 2 名程度をめどに考えています。公募報告者の選定にあたっては、2027 年度研究大会の主題・対象により近いものを優先的に検討します。ただし、その他のテーマによる応募を排除するものではありません。

報告時間は 1 人 25 分程度で、報告後、質疑応答を行います。英語での報告を希望される場合は、ご相談ください。

２．応募資格

2026 年度研究大会開催時に本学会の会員になっていること。本学会への入会手続については、本学会ホームページ(https://www.jawl.jp/application.html)をご覧ください。

３．応募手続

次の①～⑦を記載したファイルを、2026 年 12 月 15 日（火）までに、メールで本学会事務局宛（info@jawl.jp）に送付してください。期日を過ぎた応募は、一切受け付けません。

①氏名
②所属・地位
③連絡先（メールアドレス、電話番号、住所）
④略歴・主要業績リスト
⑤報告テーマ
⑥報告の構成（目次など）
⑦報告概要（2,000 字以内）

４．審査結果の通知

企画委員会で審査を行い、2026 年 12 月末を目途に、応募者に結果を通知します。